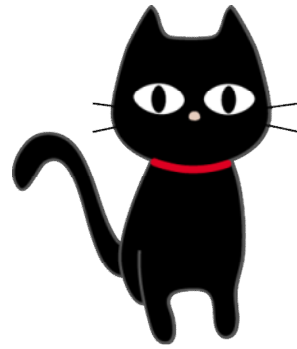


山猫タイムズ

第5号(平成24年8月23日)

発行：花巻市東京事務所



「ハヤチネ！」

大迫町を舞台にした漫画「ハヤチネ！」第1巻絶賛発売中です。作者は岩手県出身の福盛田藍子さん。作者自身が子供の頃住んでいた大迫町を舞台に、都会から大迫町に引っ越してきた3人の姉弟達が、町の人々や伝統の文化に触れながら成長していく様を描く。方言のままのセリフ、各場面に散りばめられた地域の風習や言い伝えに、思わず微笑んでしまう、心温まる作品です。(全国有名書店、アニメイトにて発売中)

小雨の中でも元気いっぱい

8月6~7日、土沢商店街(東和町)土沢七夕まつりが開催されました。あいにくの小雨の降る中、地元の園児や児童による踊りが披露され、カラフルな七夕飾りで彩られた商店街は活気で溢れた。15時から歩行者天国となり、ビアガーデンや屋台村などで来場者は夏の夜を楽しんだ。

第22回宮沢賢治賞・イーハトーブ賞が決まりました！

宮沢賢治に関する優れた研究や評論、実践活動を表彰する第22回宮沢賢治賞・イーハトーブ賞が決まりました。

宮沢賢治奨励賞：島田 隆輔さん(島根県松江市)

「宮沢賢治研究 文語詩稿・叙説」刊行以来、文語詩に関する研究6冊を自費出版。賢治晩年の活動の内実にせまった緻密な基礎作業と深い考察に対して。

イーハトーブ賞：むの たけじさん(秋田県横手市)

東京の新聞社を退職後、週刊「たいまつ」を創刊。教育・文化についての社会的発言、農業の重要性を伝える活動を続けていることに対して。

宮沢賢治賞、イーハトーブ賞奨励賞は該当者なし。

表彰式は9月22日、JR花巻駅前のなはんプラザで行われる。

《山猫のしっぽ》

宮沢賢治賞・・・宮沢賢治の名において顕彰されるにふさわしい研究・評論・創作などに贈られる

イーハトーブ賞・・・宮沢賢治の名において顕彰されるにふさわしい実践的な活動を行なった個人・団体に贈られます。

ブランド牛誕生に期待！

大迫町のエーテルワイン、花巻農業振興公社、県南広域振興局花巻農林振興センターは、牛のブランド化に挑戦中です。ワインの製造過程で出るブドウの搾りかすを飼料に混ぜ、牛に餌として与え、試験・栄養価の分析を行っている。農家の飼料費の負担軽減、地元産飼料の高い安全性のアピールにも繋がり、期待は高まる。将来的には100頭規模の肥育農家数戸による限定生産とし「エーテルワインビーフ」としての商品化が目標。

《山猫のしっぽ》

同様の例では、山梨の「甲州ワインビーフ」があります。1991年の発売以降、地域ブランドとして定着。また、同じく山梨には「ワイン豚(わいんとん)」がありますが、こちらはなんとワインを飲ませて育てているそう。ちなみに特別醸造の白ワインだとか。

美肌の湯 あふれる潤い ご自宅で

花巻温泉「佳松園」からオリジナル化粧品が発売に。佳松園のお湯はとろみがあり、うるおい成分が豊富、「美肌の湯」として知られています。源泉を配合した化粧水、ピーリングジェル、ジェルマスクの3アイテム。特にジェルマスクは源泉の成分をジェル状に固めてマスクにしており、使用後はお湯に溶かして入浴剤に。夏の紫外線で疲れたお肌に試したい逸品。花巻温泉各売店ほか、インターネットでも購入可。

お問い合わせ：花巻温泉(株) TEL 0198-37-2111

オンラインショッピング <http://www.hanamakionsen.co.jp/shopping/>

11日は「震災を忘れない」

大槌町と秋田県五城目町の特産品を集めた被災地支援イベント「結海(ゆうみ)」(「金婚亭敷地内・西宮野目」)がオープンから3ヶ月目となった8月11日、震災を忘れないための月例イベントを開いた。五城目町名物「だまご鍋」の振る舞いや、花巻南高校吹奏楽部の演奏などがあり、買い物客を楽しませた。

大槌町で震災に遭った五城目町のお年寄り約40人が、宿泊した浪板観光ホテルの適切な誘導で全員無事に避難できたことをきっかけに交流が始まった。両町の間接点である花巻に開店し、復興の後押しに一役かっている。

山車の迫力を実感

大迫町の盆の伝統行事「あんどんまつり」が8月14、16日に行われた。武者絵や先祖供養の仏画などを題材にした立体的な山車が「ヤーシ、ヤーシ」の掛け声とともに町を練り歩いた。夜になり山車に明かりが灯り、絵柄が浮かびあがり迫力を増し、見物客を魅了した。200年の歴史を持つこのまつり、江戸時代の大飢饉で餓死した人を弔うために始まり、供養の気持ちを忘れない想いが今日まで続いている。

夢の花火が上がりました☆

8月15日、石鳥谷夢まつりが開かれました(13日雨天順延のため)。今年で24回目を迎え、市内外から約25,000人が訪れ、残暑の中、夏の夜を楽しんだ。夢行灯67基の明かりが揺れる中、石鳥谷中学生がオリジナルTシャツやチャリティ-うちわを販売し、東日本大震災への義援金を呼び掛けた。復興を願っての花火約7,000発が打ち上げられるとまつりも最高の盛り上がりを見せた。

便利になりました

国道4号石鳥谷バイパス(花巻市～紫波町)の4車線利用が8月10日午後3時から開始。石鳥谷町中寺林の1.4kmと、石鳥谷町好地～紫波町犬淵までの1.4kmの2ヵ所。これにより、国道4号は花巻市山の神～盛岡市厨川までの48ヵ所区間が4車線となった。

「まいにち富士山」

東和町出身の佐々木茂良さん(72)(神奈川県秦野市)は8月11日、富士山登頂1000回の記録を達成した。同日は快晴で、秦野市丹沢連峰山楽会の仲間30人と7時30分に登山を開始し、午後0時30分に登頂達成。仲間に祝福され「(これまで)登れたのは家族や登山仲間、友人の支えがあったから。1000回はあくまで通過点、心身充実のため登り続けたい」と気持ちを新たにされた。

佐々木さんが富士山登山を始めたのは定年退職後の64歳。コツコツと登山を続け大台を突破。昨年6月には「まいにち富士山」(新潮新書)を出版し、印税の一部を義援金として、岩手、宮城、青森と花巻市に寄贈。

大人気の「歩こう会」ですよ

8月18、19日、ウォーキングスポットの祭典「いわて花巻イート-7の里7-デー-マ-チ」が行われた。宮沢賢治や高村光太郎ゆかりの地めぐりなど2日間で5～40kmの全8コース。コースごとに出発式や準備体操を済ませ、順次出発。

北海道や九州など全国から大勢の参加者が真夏の花巻散策を楽しんだ。

老舗です

2012年中に創業100年を超える県内の老舗企業は345社(東京商工リサーチ調べ)。

最も業歴が長いのが「夏油温泉(1134年創業)」。

市内企業では生菓子製造の「玉川屋(1716年創業)」(花巻市諏訪)が10位にランクイン。

「べっ甲せんべい」「塩豆大福」が評判。

いくつになってもアドベンチャー!

8月19日、東和町猿ヶ石川で「猿ヶ石川下りアドベンチャーレース」が行われた。レースは親子、男女、男子、女子の4部門。県内のほか関東などから106組が出場。スタートは上瀬橋のたもと、ゴールは北成島の毘沙門天勝苑。ゴールを操りワカを競う。河童の仮装で乗り込む人や、急流で転覆し流されるなど、自然と一体となってレースを楽しんだ。

～花巻市内でのイベントのお知らせ～

「第43回おおはさまワインまつり」

日時：平成24年9月16日(日) 11:00～15:00

会場：大迫町 ぶどうの丘周辺 (メイン会場は 大迫ふるさとセンター です)

《ワインセット1,500円(お酒+お肉720ml 赤・白いづれか1本+記念グラス+手作りチーズ)の販売(限定1,000セット)や、ワインや特産品の販売、ワイン娘によるブドウ踏み、焼肉コナ、ワイン餅まきなど、ワインを飲めない方やお子様も楽しめるたくさんのイベントをご用意して皆さまのお越しをお待ちしています。》

※会場内は10:00～15:00間、車両乗り入れは出来ません。指定駐車場より無料のシャトルバスを運行しますのでご利用願います。

また、盛岡・紫波方面、北上・東和方面、遠野方面、花巻駅前など各地から有料シャトルバスの運行もごさいます(大人500円)。ぜひご利用くださいますようお願い致します。

お問い合わせ：大迫ワインまつり実行委員会事務局

TEL 0198-48-2111(大迫総合支所内)

～都内での花巻関連のイベントのお知らせ～

「歌とサロンオーケストラのコンサート」

バリトン歌手 古川精一さんが出演されるコンサートです。

古川さんは、お父様が花巻出身、おじい様が宮沢賢治の教え子。

市イーハトーブ大使として、花巻の魅力を各方面に広めてくださっています。

日時：平成24年9月14日(金) 18:30開場 19:00開演

会場：すみだトリフォニーホール・小ホール (JR総武線「錦糸町」駅から徒歩3分)

出演：古川精一(バリトン)、清水多恵子(ソプラノ)、アンフィニサロンオーケストラ

予定演目：オペラ《ラ・ボエーム》より「セツタのワルツ」ほか

入場料：一般3,000円 小中高生2,000円

チケット予約、お問い合わせは、オフィスグレース TEL 03-3804-8844(10:00～19:00)

<http://office-grace.co.jp/>

※イベント内容は予告なく変更する場合がございます。

発行：花巻市東京事務所 (気まぐれ発行)
東京都千代田区有楽町2-2-2 数寄屋橋大雅ビル3階
TEL 03-3573-5773 FAX 03-3573-5727

